

令和7年度 第2回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	令和8年2月12日(木) 午後7時00分から午後8時30分まで
3	会場	豊科公民館 大会議室
4	出席者	飯島委員、山本委員、高橋委員、細萱委員、 長井委員、寺島委員、下田委員
5	担当課出席者	渡邊保健医療部長、 健康支援課 二木課長、村田係長、草間係長、小林係長、松田主査、 石川歯科衛生士、中田歯科衛生士、関根歯科衛生士 高齢者介護課 市川係長、臼山歯科衛生士 障がい者支援課 関係長
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	令和8年2月24日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	
	(1) 開会	
	(2) 部会長あいさつ	
	(3) 保健医療部長あいさつ	
	(4) 協議事項	
	①令和7年度歯科保健事業中間報告について	
	②令和8年度歯科保健事業(案)について	
	③意見交換 子どもの口の健康について	
	④その他	
	(5) 閉会	
2	協議事項の概要	
	①令和7年度歯科保健事業中間報告について	
	【主な意見】	
	(委 員)	
	・シニア歯科健診の項目にある口腔がん検診はいつから実施しているか。また、医院ではどのような検査をしているか。	
	(事務局・委員)	
	・事業開始当初より項目に含まれている。	
	・検査キット等は使用していない。主に視診で判断し、必要に応じて口腔外科へ紹介となる。	
	(委 員)	
	・初診で口腔がんを発見するのは難しくないか。実際に発見されたことはあるか。	
	(委 員)	
	・定期受診者で発見したことがある。明らかな異常は目視で確認可能なため、難しくはない。	
	(委 員)	
	・過去に口腔がん検診の単独化が議論されたが、費用面や検診の役割範囲の観点から実施を見送った経緯がある。検査キット等を使うような検査は難しいと思われる。	

②令和8年度歯科保健事業（案）について

【主な意見】

特になし

③意見交換 「子どもの口の健康について」

【主な意見】

・家庭環境による健康格差をなくすため、歯科だけでなく様々な方面から関わる必要がある。18歳までの医療費が無料となったため、医院からも積極的に受診を促していきたい。

・市民が自主的に健康について学ぶ機会が縮小しつつある。あらゆる教育・啓発の機会を捉え、市独自に各地域へ出向き、積極的に啓発活動を実施してほしい。

・他市と比較して、安曇野市では充実した啓発活動が行われている。今後は、それぞれの立場から情報発信を続け、さらなる普及に努めることで子どもの健康維持につながると良い。

また、今後の部会を持続・発展させるため、さらに多くの公募委員の参加を募ってはどうか。

・市のむし歯のない子どもの割合は国や県と比べて良い状況。今後は、この良好な状況をいかに継続させていくかという視点に加え、多数歯むし歯を持つ者へのアプローチは別途対策が必要。

・校医が児童生徒と接する機会は年に数回。普段の児童生徒の様子を最も把握できるのは担任教師である。本来であれば、担任教師への指導にも出向きたい所だが、コロナ禍以降、縮小している。現在の学校現場における受け入れ体制やニーズを教えてほしい。

・現在、学校での給食や歯磨きは通常どおり実施中。カリキュラムの都合上、定期的な指導は難しいが、市歯科衛生士の歯科指導、保健委員の活動、身体測定時の指導を実施している。高学年になると口腔ケアへの関心が低下するが、担任教師への周知や保健室からの発信を続け、児童生徒の意識向上を図りたい。

・春は市歯科衛生士の指導、秋以降は感染症の流行があるため、今以上に学校へ出向くのは難しい。歯科健診時の個別指導についても、児童生徒の心理的負担を考え、慎重な検討が必要。

・本来、歯磨き等の生活習慣は、親が責任を持つべき範疇である。核家族化等により学校への要望が過剰になっているが、日常の歯磨き指導まで教師に強いるのは負担が大きすぎる。学校と連携しながら、総合学習の時間を活用するなどして、児童生徒に健康維持の重要性を伝えてほしい。

④その他

【主な意見】

特になし

